

# 学校だより(いしがき)

第28号 令和4年1月28日  
文責 校長 石橋 節二 TEL94-2038

## 学校教育目標

「ふるさと中原を担う生徒の育成」  
～自律と共同を通して～

前回の第27号学校だよりで、佐賀の乱「寒水川の激戦」で三養基高校付近の森(化物山)と現在の中原特別支援学校付近の森(ジュウハ)と記載していましたが、中原町史や中原村の史話伝説によるとジュウハ付近は丘陵地で墓地だったことが分かりました。ご連絡ありがとうございました。私自身勉強になりました。

さて、今回の学校だよりは、ふるさとの偉人「陶山 聰 氏」について、故事成語⑰(泣いて馬謖を斬る)、中原地区の地形の成り立ち、難解語句、2月～4月の主な行事予定について紹介します。

## ○ふるさとの偉人「陶山 聰 (すやま さとし) 氏」について

ふるさと佐賀を知り、郷土に対する自信と誇りを持ってもらいたいという願いから、今回は、陶山 聰 (すやま さとし) 氏を紹介します。陶山 聰 氏は現在の鳥栖市ご出身ですが、中原との関わりは、戦前に中原小学校に勤務されており、現在の中原小学校の校歌や以前の中原中学校校歌(昭和26年)を作曲されました。(校歌の作詞者は宮崎 安一 氏で変わっていませんが、現在の校歌の作曲者は池内 友次郎 氏です。) 中原中学校 HP には陶山 聰先生が作曲された昔の中原中の校歌もアップしていますので聞くことができます。

陶山 聰 (すやま さとし) 先生は鳥栖市出身で、鳥栖地区の小中学校の教師をされていました。また、佐賀県の東部地区や鹿島地区を中心に県内だけでなく福岡県や長崎県内の小中学校の校歌や会社の社歌など3000以上の作曲をされた音楽家でもありました。近隣の中学校では、北茂安中、神埼中、千代田中、三田川中、鳥栖中、田代中、基里中、鳥栖西中、三瀬中、北山中などの校歌も作曲されています。旭中学校(現鳥栖西中)校長で退職され、1999年に92歳でご逝去されました。現在でも陶山先生の「ふるさとの音楽教育家」としての功績が受け継がれています。

陶山先生にまつわる話としては、『月光の夏』という題名で特攻隊員が出撃前にピアノを弾いたという話が映画化されましたが、そこに登場するドイツツッペル社のピアノは、昭和6年(1931年)に陶山氏が実際に自分で弾いて選んだといわれています。鳥栖の婦人会の方々は、鳥栖の子どもたちに一流の音楽を味わわせたいという願いから寄付金4500円(現在価値1億円以上)を集められ、ピアノの選定を陶山先生に委託されています。このピアノは、手作りの最高級品として定評があり、当時国内に2台(現在は3台)しかなかったそうで、鳥栖尋常小学校に寄贈されました。映画では戦争末期の昭和20年6月に沖縄に特攻隊として出撃を控えた隊員2名が鳥栖国民学校(現在の鳥栖小学校)にグランドピアノがあることを知り、最終出撃基地である鹿児島島の「知覧(ちらん)」に向け出発する前に、目達原訓練基地から線路伝いに歩いて鳥栖の学校まで行き、ベートーベン作曲「月光」という曲を弾いたというストーリーです。この話は、若干脚色され、事実とは異なる部分もあるようですが、戦争末期に実際に兵隊さんが「月光」と「海ゆかば」という曲を弾かれたことは事実のようです。現在そのピアノは、サンメッセ鳥栖に常設されています。

12月9日(木)に陶山 聰 顕彰会事務局の志藤 様が来校され、陶山先生が作曲された「明日に旅立つ君に」という曲を希望に満ちた旅立ちの歌として卒業する3年生に是非贈りたいと語られました。卒業式は時間が制限されていますので、3年生を送る会か3年生修了式の時に是非披露したいと思います。

## ○故事成語⑰

泣いて馬謖を斬る(ないてばしょくをきる) 三国時代…今から1800年ほど前

【意味】法律や規律を守るために、私情を捨てること

【由来】

蜀(しょく)の国の武将の馬謖(ばしょく)は宰相(さいしょう)の諸葛孔明(しょかつこうめい)の信頼が厚く、その命令を受けて戦いに向かいました。しかし、諸葛孔明の戦争の指揮に従わなかったために敵の魏(ぎ)の国に大敗してしまいました。諸葛孔明は、軍の規律が厳しいことを知らせるために、自分がかわいがり信頼していた馬謖を泣く泣く死刑にしたことから、この語ができました。

(十八史略)



陶山 聰 (すやま さとし)

鳥栖市出身 1907～1999年

鳥栖の小中学校教諭

校歌や社歌 3000以上作曲

【小学校】

鳥栖小、麓小、旭小、三根東小、三田川小、東脊振小

【中学校】

鳥栖中、田代中、基里中、鳥栖西中、三田川中、神埼中、三瀬中、北山中、北茂安中

【高校】

鳥栖商

## 陶山 聰 氏にまつわる話

サンメッセ鳥栖に展示



ドイツツッペル社のピアノ

## ○中原地区の地形の成り立ち

上峰町の八藤（やとう）遺跡を知っていますか？平成5年（30年ほど前）高柳地区の西側の丘陵地の地下から生木状態の巨木が発見されました。これは、今から約9万年前の阿蘇4火砕流（過去に4回大きな火砕流が発生し、その4回目の火砕流）で埋没したものです。この巨木の一部は、**上峰町ふるさと学館入口**に保存のため水槽に入れ展示されています。

その時の火砕流の痕跡は山口県でも確認されているぐらい大きなもので、阿蘇山から80kmはなれた佐賀県東部にも押し寄せてきています。その後、樹木を失った脊振山地は大雨のたびにくずれ、土石流となって山裾に流れ、現在の佐賀平野東部の丘陵地帯を作っています。

中原地区は寒水川によって扇状地が形成され、9万年という長い間の雨や川の浸食・堆積作用によって丘陵地の部分と平野が形成されました。川の水は高いところから低いところへ流れますが、丘陵地では水確保が困難でした。**成富兵庫茂安**は、この地域の農業用水や生活用水確保のために寒水川の上流に堰（井樋）を作り、丘陵地に人工的に水路を張り巡らしました。以前紹介した北浦団地東側の水路もその一つで、寒水川の水を山田地区の**一ノ瀬堰（井樋）**で取水し、香田地区→中原地区→北茂安の西尾や東尾地区へ流していました。右の写真は山田地区にある一ノ瀬堰（井樋）です。



【発掘状況（上峰町発行パンフレットより引用）】



【現在の一ノ瀬堰（井樋）】

## ○難解語句

**辻褄**（つじつま） **を合わせる**：辻や褄を合わせて着物を仕立てるように、話の筋道や前後が矛盾しないように取り繕うこと。「辻」は縫い目の十字になった部分。「褄」は着物の裾の左右両端の部分。

**眉唾**（まゆつば）：だまされる心配のあるもの。真偽の確かでないもの。信用できないもの。眉に唾をつけると狐にだまされないという俗説から出た言葉。

**競売**：法律用語として使用する際には「けいばい」、放送用語や日常会話では「きょうばい」を用いることが一般的。

**遺言**：死後のために生前に言い残す言葉。で広い意味での遺言を総称して「ゆいごん」、狭い意味で法律上の効果を発生させる目的でつくられたものが「いごん」と言うことができる。

**揶揄**（やゆ）：対象をからかって面白おかしく扱うこと、皮肉めいた批判によって嘲笑的に扱うこと。

**針のむしろ**：一時も心が休まらないこと。また、つらい場所にいることや苦しい境遇にいることの意味。

**カーボンニュートラル**：温室効果ガスの排出量と吸収量をプラスマイナスゼロの状態にすること

**青天の霹靂**：突然に生じて大いに人を驚かせるような衝撃的な出来事。

**エントランス**：建物の出入り口部分のこと。

**ボヘミアン**：語源はフランス語の bohème で、ボヘミア人をさすが、19世紀に入って、ボヘミアンは社会の慣習を無視して放浪する芸術家の代名詞のようになり、のちに同様の知識人や放縦生活者まで含む呼称となった。

**サプライチェーン**：商品や製品が消費者の手元に届くまでの、調達、製造、在庫管理、配送、販売、消費といった一連の流れのこと。ものが製造されて販売されるまでの流れ全体をとらえる。

## ○2月～4月の行事予定

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で変更の可能性あり

- ・ 県内 私立高校 後期試験 2/3（木）
- ・ 県立高校 特別選抜試験 2/8（火）
- ・ 授業参観、2年生立志式 2/18（金）
- ・ 県立高校 一般選抜試験出願 2/21（月）、22（火）
- ・ 1,2年生学年末テスト2/22（火）24（木）25（金）
- ・ 佐賀北高校 通信制試験出願 3/2（水）～3/15（火）
- ・ 県立一般選抜試験 3/8（火）、9（水）
- ・ 第75回卒業証書授与式 3/11（金）
- ・ 県立高校一般選抜試験合格発表 3/15（火）
- ・ 令和3年度 修了式・職員離任式 3/24（木）
- ・ 令和4年度 始業式、赴任式 4/6（水）
- ・ 令和4年度 中原中学校入学式 4/11（月）
- ・ 1年生部活動体験 4/12（火）～4/15（金）
- ・ 家庭訪問 4/19（火）～4/28（木）※変更の可能性有